

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市老人福祉計画	市長公約	5 医療・福祉を充実させます。 地域住民が互いに支え合う仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。
種別			款	3	民生費		○	B				
担当課	高根支所地域振興課	内線	3722	項	1		社会福祉費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
				目	3		老人福祉費	D	その他事業			
H26計画額										420 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか(意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために事務局人件費を助成し、老人クラブを通じて、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	9,677 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,000	10,000	10,000
				実績(見込)	9,796	9,584	9,677	
				算出根拠等	達成率(%)	93	96	97
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	143	139	138
				実績(見込)	143	139	138	
				算出根拠等	達成率(%)	95	97	99
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	43	40	40	40
				実績(見込)	39	38	37	
				算出根拠等	達成率(%)	91	95	93
	補足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっているため。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、今後一層の充実と活発な取組みが必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。								
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善		拡大		縮小		廃止検討
	担当課評価	○ 維持・改善							
	拡大								
	縮小								
	廃止検討								
二次評価	<table border="1"> <tr> <td>○ 維持・改善</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止検討				
○ 維持・改善									
拡大									
縮小									
廃止検討									

・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 420	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 5,185	5,753	6,000	6,000
	受益者	高根区会員数(4月1日現在)	(B) 81	73	70

5 予算編成(Action2)

事業内容	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求のポイント	地域老人クラブ事務局人件費	事業実施の課題	<p>地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取組みにするため、一般会計(31336事業老人クラブ活動費補助金)予算へ移行する必要がある。</p> <p>平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。</p>	高年介護課 地域政策課
------	---	---------	---------------	---------	---	----------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	61199	地域活性化施設振興事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	2	商工業・地場産業をさらに発展させます ◎景気回復を最重要課題として取り組みます
種別				款	6	商工費		○	B					
担当課	高根支所 地域振興課		内線	項	1	商工費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	6,340 千円				
			3710	目	1	商工振興費	D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたいのか(意図)	道の駅飛騨たかね工房は、地域の情報発信及び特産品の直売所としてだけでなく、地域の活性化施設として重要な位置づけとなる施設であるが、年間を通じた安定した集客が困難であるため、施設の運営が非常に厳しい状況にある。よって、施設の安定した運営のため、業務委託料を支出するもの。	概要	事業の実施手法(手段)	道の駅飛騨たかね工房の安定した運営のため業務委託料を支出するもの。
	対象者数	398 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	道の駅飛騨たかね工房業務委託料 6,340千円							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	年間営業日数	日	目標値	310	309	310	309
				実績(見込)	310	309	310	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	成果指標	年間入り込み客数	人	目標値	61,500	61,500	61,500	55,000
				実績(見込)	45,814	48,386	35,400	
				算出根拠等	道の駅年間入込客数(観光動態調査)	達成率(%)	74	79
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
達成率(%)								
補足	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
H24より特産品の販売に力を入れて実施している。								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・道の駅施設は今後も存続していく必要があるが、その経営は非常に厳しい。地域振興特別予算の業務委託料に頼らず経営できるような取り組みが必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・地場野菜の販売の拡充を実施。 ・他の観光施設と連携して割引クーポンを発行し、利用者の増加を図る。 ・レストランの利益増加のため、魅力ある新メニューの開拓と不人気メニューの廃止を実施する。 ・効率的なバート利用の実施など人件費の削減。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・地域の特産品開発、販売の拠点機能をもつ道の駅は、ほかに類似する施設はなく、事業は今後も継続していくが、今後さらに効果のある誘客宣伝の実施や経営改善に努めていく。 ・特例期間終了を見据え、今後のあり方などについて検討する必要がある。
	□ 拡大	
	□ 縮小	
	□ 廃止検討	
○ 二次評価	維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	6,340	6,340	6,340
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	138	131	103
	受益者	年間入り込み客数	(B)	45,814	48,386	61,500

5 予算編成(Action2)

事業内容	道の駅飛騨たかね工房管理業務委託	要求のポイント	事業実施の課題	商工課	経営改善計画の検証により、着実な実施が必要である。
			支所	地域政策課	・平成27年度以降、安定した運営が行えるよう平成25年度に受託者が策定した改善計画を軌道に乗せる必要がある。 同上

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,340	6,340	0	6,340	6,340	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	6,340	6,340	0	6,340	6,340		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	地域道路橋りょう管理振興事業費 (市道未登記用地測量事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
種別				款	7	土木費		○	B			
担当課	高根支所 基盤産業課	内線 3742	項	2	道路橋りょう費	C		終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	5,000 千円		
			目	1	道路橋りょう総務費	D		その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域の住民	どうしたいのか (意図)	・未登記路線を整理し、市道の適切な管理を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	・市道未登記箇所の測量を行い、所有者から寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
	対象者数	398 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・市道池ヶ洞線、養生線、調査延長1,095m (7筆)							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指標	調査測量済路線延長	m	目標値	800	500	500	500
		実績(見込)		750	1,095	1,860		
	算出根拠等	未登記路線実績調査	達成率(%)	94	219	372		
	活動 指標	分筆登記済路線延長	m	目標値	400	400	400	400
		実績(見込)		10	0	1,835		
	算出根拠等	未登記路線実績調査	達成率(%)	3	0	459		
	成果 指標	未登記整備進捗率	%	目標値	5	6	5	13
		実績(見込)		5	5	11		
	算出根拠等	分筆登記済路線延長累計/未登記路線延長(27,244m)	達成率(%)	100	83	220		
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)						
		目標値						
算出根拠等		実績(見込)						
		達成率(%)						
算出根拠等		目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)						
		目標値						
算出根拠等		実績(見込)						
		達成率(%)						
補足	・山地施工であり、1筆あたりの面積も大きいため、隣地確認等を優先して行ったことから調査測量延長は増加したが、登記業務の実施まで至らなかった。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・世代交代により、相続に関する課題も多くあり、地権者の了解を得るのに時間を要する。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・地元町内会の協力を得ながら現地確認を実施し、所有者の確認を着実に進めていく。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	重要路線の未登記処理は今後も継続して行く必要がある。
	□ 拡大	
	□ 縮小	
	□ 廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。
	□ 拡大	
	□ 縮小	
	□ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	4,997	4,975	6,000	6,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	11,055	11,930	15,075	15,075
	受益者	4/1 現在高根地域住民	(B)	452	417	398

5 予算編成(Action2)

事業内容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	維持課 地域 政策課	世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、優先順位をつけて未登記路線の解決を進める必要がある。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	------------------	-------------	-----------------	--------	------------------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	6,000	6,000	0	6,000	6,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	6,000	6,000	0	6,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4	個人・家庭・地域を大切にする社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニケーション活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
種別			款	9	教育費		○	B					
担当課	高根支所	地域振興課	内線	3711	項	4	社会教育費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	760	千円	
			目	1	社会教育総務費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたいのか(意図)	・高根地域独特の自然環境を活かした山野草を植栽することで、地域を花で飾り、観光客へのイメージアップと住民への愛着心を高揚させる。	概要	事業の実施手法(手段)	・花いっぱい用の山野草苗購入 ・花壇整備・管理・花苗の植栽等を高山市シルバー人材センターへ委託
	対象者数	398	人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・山野草花苗購入 285千円 ・花壇維持管理業務 475千円							
成果面	活動指標	花いっぱい用花壇の整備箇所数	箇所	目標値	11	11	11	11
	算出根拠等			実績(見込)	11	11	11	
				達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	花を楽しむことのできる期間	月	目標値	3	3	3	3
	算出根拠等			実績(見込)	3	3	3	
				達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	小学生の郷土学習	学年	目標値	1	1	1	1
	算出根拠等			実績(見込)	1	1	1	
				達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
補足	・朝日小3年生の郷土学習の授業に取りあげられた。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・多年草の山野草が定着したら苗の購入は少なくなるが、花壇の管理業務は必要であり、管理体制の検討が必要。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・山野草花壇の維持管理と、昨年猪の被害にあった花壇の整備と山野草の補植を実施し山野草花壇を充実させる。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・高根地域独自の、自然環境に適した山野草を植栽し、地域らしい花飾りで観光客へのイメージアップと住民の地域への愛着心を高揚させる事業であり、今後も継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	760	760	800	760
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	37	31	32	30
	受益者	7~9月の道の駅利用者	(B)	20,816	24,905	25,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	・山野草(多年草)の植栽に必要な苗の購入 ・町内会等での管理が困難な沿道の花壇であることから、花壇の適正な管理(補植、花壇周辺草刈、猪被害花壇整地)を行うための管理業務委託費	要求のポイント	事業実施の課題	・山野草が定着しつつあるところであるが、花壇の管理業務について見直しが必要となり、協働のまちづくりの中で調整が必要である。	市民活動推進課 地域政策課	地域社会教育推進事業は、花いっぱい運動にかかる経費として全支所地域において計上されているが、予算措置の内容は花苗等の購入のほか肥料や資材の購入、花壇の管理委託など地域によって異なっている。 今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 平成27年度以降は市の関わり方を整理し、地域づくりの観点から市が実施することと地域で実施することの整理が必要である。
------	--	---------	---------	---	------------------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	800	760	△40	800	800	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	800	760	△40	800	800		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域文化振興事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 心の中の生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのや る気作りにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させていく
種別			款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所 地域振興課	内線	項	4	社会教育費	目	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	150 千円			
			目	6	文化振興費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域全住民	どうしたい のか (意図)	・文化芸能祭を通して、地域の伝統・文化を再認識し、地域への愛着、郷土意識を高める事ができる。 ・地域の文化振興と地域コミュニティの推進を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・高根地域の文化芸能祭の運営費を社会教育推進協議会へ補助する。
対象者数		398 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・高根地域の文化芸能祭の運営費を社会教育推進協議会へ補助。							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		高根地区文化祭の開催回数	回	目標値	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1			
		算出根拠等	達成率(%)	100	100	100		
	成果指標	高根地区文化祭の参加人数	人	目標値	200	200	200	200
		実績(見込)	200	250	250			
		算出根拠等	達成率(%)	100	125	125		
		算出根拠等	達成率(%)					
	補足	算出根拠等	達成率(%)					
		算出根拠等	達成率(%)					
		算出根拠等	達成率(%)					
		算出根拠等	達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・事業内容見直しと今後の補助に対する検討が必要。
----------------------------------	--------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・補助金の有効活用のため、社会教育推進委員会に対する助言等の実施。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・高根の住民の心と生活に潤いと豊かさを醸し出す事業であり、住民の参加率も高く、高根全体の住民が集える場であるため引き続き継続する。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	○縮小	・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	150	150	150
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	332	360	377
	受益者	(B)	452	417	398

5 予算編成(Action2)

事業内容	高根地域の文化芸能祭に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	・平成27年度以降の協働のまちづくりの一事業として、事業内容や 予算規模の見直し検討が必要である。	生涯 学習 習課 地域 政策 課	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文 化講演会等に対する助成として全支所地域において実施しているが、地域により、 内容・実施主体・助成割合等が異なっている。今後、協働のまちづくりの議論の中 で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興 事業との関係についても整理する必要がある。
------	------------------	-------------	-----------------	--	---------------------------------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	150	150	0	150	150	要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	150	150	0	150	150		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいを、若者の社会参加への やる気づくりにもつながら芸術文化活動をさらに浸透させていく。
種別				款	9	教育費		○	B					
担当課	高根支所	地域振興課	内線	項	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	400 千円			
			3710	目	1	体育総務費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域全住民	どうしたい のか (意図)	・各軽スポーツを通して、地域の連携と健康増進を高めることができる。 ・地域のスポーツ振興と地域コミュニティの推進を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・高根地域の軽スポーツ大会、ふれあい運動会の運営費を社会教育推進協議会へ補助する。
	対象者数	398 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・高根地域のスポーツ振興事業運営する社会教育推進協議会へ補助						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	軽スポーツ交流大会等の開催回数	回	目標値	5	5	5	4
成果 指標	算出根拠等		実績(見込)	5	5	4	
			達成率(%)	100	100	80	
成果 指標	高根地区軽スポーツ大会等参加者数	人	目標値	360	360	360	300
	算出根拠等		実績(見込)	321	248	250	
成果 指標			達成率(%)	89	69	69	
			目標値				
成果 指標			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果 指標			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
成果 指標			達成率(%)				
			目標値				
成果 指標			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	・軽スポーツ交流により高根地域の住民が集い、マンネリ化した生活や心に潤いを醸し出すとともに、地域の連帯感を高め住民の健康・体力の向上と維持、生きがいづくりの場となっている。						

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・高根地域住民が集う場で参加率も高い事業ではあるが、少子高齢化に伴う事業内容見直しと、今後の補助に対する検討が必要。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・補助金の有効活用のため、社会教育推進委員会に対する助言等の実施
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 高根の住民生活に潤いと豊かさを保ち、住民の参加率もよく、集う場として引き続き継続する。
二次 評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	400	400	400
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	885	959	1,005
	受益者	(B)	452	417	398

5 予算編成(Action2)

事業内容	・高根地域の軽スポーツ大会、ふれあい運動会の運営に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	・平成27年度以降の協働のまちづくりの一事業として、事業内容や 予算規模の見直し検討が必要である。	ス ポ ー ツ 推 進 課 地 域 政 策 課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域における スポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予 算に計上されている。 今後、協働のまちづくりにより、各地区社教等が事業を自主運営していくことが できる仕組みづくりを検討する必要がある。
						平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	400	400	0	400	400	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	400	400	0	400	400		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20899	遊休施設解体事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約	10 市民のための行政改革を実施します ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすくりに断行します ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います
	種別			2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	高根支所 地域振興課	内線	予算	1	総務管理費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	千円	
				3710	8		財産管理費	D			その他事業

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域全住民	どうしたいのか(意図)	・使用されていない構築物、建物等の処分	概要	事業の実施手法(手段)	・不用構築物、建物等の処分解体
	対象者数	398 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	0						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	遊休施設解体処分	件	目標値			4	1
成果指標	算出根拠等		実績(見込)			4	
			達成率(%)			100	
成果面	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	維持・改善	二次評価	拡大		縮小		廃止検討		維持・改善		拡大		縮小		廃止検討
担当課評価	維持・改善																
二次評価	拡大																
	縮小																
	廃止検討																
	維持・改善																
	拡大																
	縮小																
	廃止検討																

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出 (千円) (A)	0	0	10,063	1,426
	受益者1件当たり(円) (A/B)	0	0	25,284	3,583
	受益者 高根地域全住民 (B)	452	417	398	398

5 予算編成(Action2)

事業内容	旧オケジッタスキー場地下タンク解体撤去	要求のポイント	使用されなくなった地下タンクの解体撤去	事業実施の課題	支所	管財課	使用できない構築物であり撤去すべきと考える。
						地域政策課	

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,063	1,426	△ 8,637	1,300	1,300	精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	10,063	1,426	△ 8,637	1,300	1,300		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20899	地域財産管理事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約
	種別			2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	高根支所 地域振興課	内線	予算	1	総務管理費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	77 千円		
				3710	8	財産管理費	D				その他事業

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたいのか(意図)	・市有地の適正管理	概要	事業の実施手法(手段)	・市有地を含めた子ノ原高原の土地、道路等の適正な維持管理
対象者数		398 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・市所有面積2,800坪に応じた負担金76,020円=(1,000坪×40円+1,800坪×18円)×1.05						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
				目標値	2,800	2,800	2,800
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	2,800	2,800	2,800	
			達成率(%)	100	100	100	
成果指標	当該財産の見回り点検	日	目標値	7	7	7	7
			実績(見込)	7	7	7	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
成果指標	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・財産を所有している限りは負担が必要であり、今後、有効活用が図られなければ、処分についての検討が必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・他の未利用となっている市有地や施設等の売却等処分について、統一的な考え方の検討の実施。
次年度の実施方針	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 77	77	77	77
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 170	185	193	193
	受益者	(B) 452	417	398	398

5 予算編成(Action2)

事業内容	子ノ原高原に所有する市有地の管理負担金	要求のポイント	事業実施の課題	管財課	市有地の有効活用(売却含む)を進める必要がある。
			今後の利用計画も無い事から、売却を含めた検討が必要である。	地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	77	77	0	79	79	精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	77	77	0	79	79		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (冬季高齢者住宅開設事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	5	医療・福祉を充実させます ・在宅介護支援を含め、高齢者集合住宅の拡充施策に取り組みます。
種別				款	3	民生費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所 地域振興課		内線	項	1	社会福祉費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	2,458 千円			
			3710	目	3	老人福祉費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	65歳以上の市民	どうしたいのか(意図)	・空き施設の有効利用と高齢者が安心して暮らせる地域づくりをめざすことを目的とする。	概要	事業の実施手法(手段)	・冬季高齢者住宅開設 開設期間 12月～翌3月 事業主体 高山市社会福祉協議会 旧学校教員住宅を使用 施設利用に伴う施設改修、維持管理費
	対象者数	26,038 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・建物管理経費 326千円 ・社協への補助金 1,800千円							
成果面	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	冬季高齢者集合住宅開設月数	月	目標値	4	4	4	4
				実績(見込)	4	4	4	
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
	成果指標	施設利用者数	人	目標値	17	17	18	18
				実績(見込)	11	9	18	
	算出根拠等		達成率(%)	65	53	100		
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等		達成率(%)						
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)						
補足	・成果：自宅だと積雪等により、運動量や地域住民との会話が無くなる中、利用者やボランティアと交流により体を動かし、また、会話を楽しむ中で健康が維持され安心感も得ている。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・冬季利用だけでなく、その他の季節の有効活用の検討や入居者の負担割合等について協議が必要である。また、入居者の確保が必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・運営補助金のあり方や冬季以外の季節での利用方法の検討。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・冬期間と同じもりがちな高齢者に「集団生活」による安心感を提供し、地域の高齢者への支援策として重要な事業であることから継続する。また、今年度の検討結果を踏まえて見直しを行い継続する。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	4,391	2,126	2,150	2,458
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	399,182	236,222	119,444	136,556
	受益者		11	9	18	18

5 予算編成(Action2)

事業内容	冬季高齢者住宅施設 ・開設期間 12月～翌年3月 ・事業主体 高山市社会福祉協議会 ・旧学校教員住宅を使用 施設利用に伴う維持管理費	要求のポイント	・冬季の「集団生活」による安心感を提供し、地域の高齢者への支援策として実施する。	事業実施の課題	・冬季以外の活用計画や施設の維持管理経費の検討が必要。 ・地域の自主事業として区分しており、平成27年度以降は補助ゼロを想定し、段階的な見直しについて利用者の理解を得る取組が必要である。	高年介護課 地域政策課	・高根地域の特性により、高齢者の安定した冬季生活の提供や健康保持のために、冬季高齢者住宅が必要である。継続した事業の実施に向けての自主的に運営できる体制づくりが必要である。 平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。
------	---	---------	--	---------	--	----------------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,150	2,458	308	2,060	2,060	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	2,150	2,458	308	2,060	2,060		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	福祉センター用地購入事業	内線	3710	特別 予算の 位置 付け	会計	1	一般会計	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約	
種別						款	3	民生費	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	高根支所 地域振興課					項	1	社会福祉	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	15,970 千円
						目	3	老人福祉費	D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたいのか(意図)	土地開発基金保有地(福祉センター用地)の買い戻しをする	概要	事業の実施手法(手段)	福祉センター用地の一般予算による買い戻し
	対象者数	398 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	H26新規事業								
成果面	活動指標	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
			目標値						
	成果指標	算出根拠等	実績(見込)						
			達成率(%)						
	成果指標	算出根拠等	目標値						
			実績(見込)						
	成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			目標値						
	成果指標	算出根拠等	実績(見込)						
			達成率(%)						
	成果指標	算出根拠等	目標値						
			実績(見込)						
	成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			目標値						
	補足		実績(見込)						
			達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の 実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
	二次評価	維持・改善
		拡大
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 0	0	0	15,970
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			40,126
	受益者	高根地域住民	(B) 0	0	0

5 予算編成(Action2)

事業内容	土地開発基金保有地購入(福祉センター用地)	要求のポイント	事業実施の課題	支所	高年介護課 地域政策課	合併前に福祉センター用地として購入し活用している土地であり、市が買い戻す必要がある。
------	-----------------------	---------	---------	----	----------------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		15,970	15,970	16,000	16,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	15,970	15,970	16,000	16,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	42299	食用廃油回収事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	8	豊かな自然を守り、環境モデル都市をつくります。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保金は今を生きている全ての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します。
種別			款	4	衛生費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所 地域振興課	内線	項	2	清掃費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	30千円				
		3710	目	2	塵芥処理費	D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域住民	どうしたいのか(意図)	・食用廃油を回収して、精製処理し、リサイクル燃料として使用することにより、市民のリサイクル意識の向上を図るとともに、地域温暖化対策を推進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・一般家庭より排出される食用廃油、年6回4箇所の資源ごみ拠点集積所で回収する。 ・回収した食用廃油は、朝日支所の処理施設で精製し、公用車の燃料(BDF)として活用する。
	対象者数	398人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・延12回開設 回収量71t							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	食用廃油回収箇所		箇所	目標値	4	4	4	4
成果指標	算出根拠等			実績(見込)	4	4	4	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
成果指標	食用廃油回収量		t	目標値	100	100	100	100
	算出根拠等			実績(見込)	79	71	70	
成果指標	算出根拠等			達成率(%)	79	71	70	
	算出根拠等			目標値				
成果指標	算出根拠等			実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
補足	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
補足	算出根拠等			実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・回収方法の検証を図る。
--------------------------	--------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・事業の必要性や効果を考慮しながら継続の可否の検討をする																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td><input checked="" type="radio"/>維持・改善</td> <td rowspan="3">事業の必要性を考慮しながら継続について検証が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td><input checked="" type="radio"/>維持・改善</td> <td rowspan="3">環境に対する効果、コスト面、精製処理した油の需要等を比較し、全市的に事業の実施方針・規模について検討する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	事業の必要性を考慮しながら継続について検証が必要である。		<input type="radio"/> 拡大		<input type="radio"/> 縮小	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	環境に対する効果、コスト面、精製処理した油の需要等を比較し、全市的に事業の実施方針・規模について検討する必要がある。		<input type="radio"/> 拡大		<input type="radio"/> 縮小		<input type="radio"/> 廃止検討	
担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	事業の必要性を考慮しながら継続について検証が必要である。																
	<input type="radio"/> 拡大																	
	<input type="radio"/> 縮小																	
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	環境に対する効果、コスト面、精製処理した油の需要等を比較し、全市的に事業の実施方針・規模について検討する必要がある。																
	<input type="radio"/> 拡大																	
	<input type="radio"/> 縮小																	
	<input type="radio"/> 廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	37	38	30
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	82	91	75
	受益者	高根地域住民	(B)	452	417	398

5 予算編成(Action2)

事業内容	・一般家庭より排出される食用廃油、年6回4箇所の資源ごみ拠点集積所で回収する。 ・回収した食用廃油は、朝日支所の処理施設で精製し、公用車の(BDF)として活用する。	要求のポイント	事業実施の課題	支所 市民のリサイクル意識の向上	生活環境課 精製機械の耐用年数を勘案しつつ、将来的な当該リサイクル事業の継続について検証が必要 地域政策課 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	---	---------	---------	---------------------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		30	30	0	30	30	要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	30	30	0	30	30		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	51399	ワークキャンプ活用事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎次世代につながる農業を確立します ・飛騨高山のブランドにふさわしい、生産者の顔がみえる安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりに取り組みます。
種別			款	5	農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	高根支所 基盤産業課	内線	予算	項	1		農業費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
				目	3		農業振興費	D	その他事業			
		3742							H26計画額	100千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	タカネコーン生産組合	どうしたいのか(意図)	・タカネコーン生産組合が主催する「タカネコーン収穫祭」のスタッフとしてNPO法人NICEから受け入れし、人手不足の解消とブランド化の推進に資する。	概要	事業の実施手法(手段)	・NPO法人NICEへの負担金
	対象者数	30人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	NPO法人NICEへの負担金 50,887円 8/24~8/26 ワークキャンプ開催							
成果 指標	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		NPO法人NICEへの負担金	千円	目標値	100	100	100	100
				実績(見込)	51	51	95	
	算出根拠等	予算・決算額	達成率(%)	51	51	95		
	成果指標	タカネコーン販売額	千円	目標値	5,200	5,200	5,500	7,000
				実績(見込)	5,240	5,580	7,000	
		算出根拠等	タカネコーン生産組合決算額	達成率(%)	101	107	127	
	成果指標	タカネコーン販売数	千本	目標値	22	22	32	35
				実績(見込)	29	31	35	
		算出根拠等	タカネコーン生産組合決算	達成率(%)	132	141	109	
	補足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域の代表的な農産物であるタカネコーンのブランド力を維持していくため今後も継続していくことが理想であるが、生産組合の体制強化により組合独自の事業として移行する方向で検討する必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・生産組合と今後の実施方針等を調整する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・ブランド力の向上と生産組合の体制強化のため、当面継続していく。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
○維持・改善	・市が主体となって行う事業としては終了し、自主的運営に向けた取り組みを進める必要がある。	
○拡大		
○縮小		
○廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	51	51	100
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,700	1,700	3,333
	受益者	生産組合構成農家	(B)	30	30

5 予算編成(Action2)

事業内容	収穫祭等におけるスタッフを都市部から受入れ、地域の特産品であるタカネコーンを都市住民に広め、都市における認知度を高め、更なるブランド化を図る。	要求のポイント	事業実施の課題	農務課 地域政策課	平成27年度以降の実施方法について検討する必要がある。 ・生産組合が自己負担し運営できる体制を整える必要がある。 ・オーナー制度や収穫祭の参加者が減少傾向にあるため、参加者が増加する対策や宅配の促進などについて、協働のまちづくりの中で検討する必要がある。 平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。
------	---	---------	---------	--------------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	100	100	0	100	100	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	100	100	0	100		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	野麦峠における交流促進事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・最新の媒体を駆使し、多様な誘客を行います。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所 地域振興課	内線	2	観光費	C		終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	300 千円				
		予算	1	観光振興費	D		その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域全住民	どうしたいのか(意図)	・江戸時代からの交通の要所として、飛騨から塩竈が運ばれたふり街道として、小説や映画「あゝ野麦峠」で全国に知られる野麦峠を中心とした観光PRにより、観光客の増加を図るとともに、隣接する松本市や映画上映会がきっかけとなり交流が深まっている岐阜市柳ヶ瀬商店街と連携しながら野麦峠における交流を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・野麦峠まつり(糸引き工女行列再現) ・高根・柳ヶ瀬つながる元気まつり ・旧野麦街道(糸引きの道)モニターツアー
	対象者数	398 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・映画「あゝ野麦峠」上映会(高山市世界生活文化センター) ・野麦峠まつり ・高根・柳ヶ瀬つながる元気まつり ・野麦峠PRのため上記イベント経費の一部を負担。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	イベント回数	回	目標値	4	3	3	3
		実績(見込)	4	3	3			
	活動指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
		松本市との交流イベント回数	回	目標値	2	1	1	1
	活動指標	実績(見込)	2	1	1	1		
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	岐阜市柳ヶ瀬商店街との交流イベント	回	目標値	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1		
	活動指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
成果指標		野麦峠年間入込客数	千人	目標値	25,000	25,000	25,000	21,000
成果指標	実績(見込)	20,705	17,413	18,000				
	算出根拠等	野麦峠年間入込客数(観光動態調査)		達成率(%)	83	70	72	
補足			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・民間(観光関係団体等)が運営可能な体制づくりの構築に向けて、実行委員会を組織することで民間への移行について検討する必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・民間(観光関係団体等)と協力・引き継ぎをしながら運営体制を作るため、高根町元気イベント実行委員会の組織強化を図る。	
次年度の実施方針	○維持・改善	野麦峠は、高根地域の主要な観光ポイントであると同時に、高山市街地への誘客効果も期待できるため、観光客の増加を図るために有効な事業である。地域全体の機運も高まっており、今後も野麦峠まつりなどの関連事業を引き続き行っていく必要がある。 ・平成27年度以降、工女衣装の維持管理に必要な経費を除き、市の助成なしでやっていけるよう、高根町元気イベント実行委員会へ引き継いでいく。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次評価	○維持・改善	・民間(観光関係団体等)主体への移行について検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の支援を縮小していく必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	300	300	300
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	664	719	754
	受益者	(B)	452	417	398

5 予算編成(Action2)

事業内容	野麦峠における交流促進事業 ・野麦峠まつり ・柳ヶ瀬交流 ・旧野麦街道(糸引きの道)モニターツアー	要求のポイント	・モニターツアーは平成25年度に実施した結果を踏まえ、独自ツアーの企画、実施に結びつくよう一部を見直し実施する。	事業実施の課題	・松本市との合同開催にあたって協調できる行事となるよう協議、調整を図る。 ・高根町元気イベント実行委員会の組織強化と継続可能となる事業内容の整理検討が必要である。 ・工女等の衣装管理費用及び事業の一部については、協働のまちづくり事業での対応を検討する。	観光課	平成27年度以降の観光振興事業については、市の関わり方、実施主体、誘客効果等の観点から、市が直接実施するもの、市が民間と一体となって実施するもの、民間団体が主体となって実施するもの及び地域の自主事業に整理することとしており、整理方針への対応を見据えた事業実施が必要である。
						地域政策課	平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		300	300	0	300	300		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			・要求どおり	・財務部査定のとおり
	県支出金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	300	300	0	300	300		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62399	地域観光施設整備事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します ◎最新の媒体を駆使し、多様な誘客を行います。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
種別				款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	高根支所	地域振興課	内線	項	2	観光費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	3,749	千円		
			3710	目	2	観光施設費	D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたいのか(意図)	・野麦峠を中心とした観光施設について、危険性のある箇所や利用者からの不満が多い箇所を改修することにより、観光客の満足度をアップさせ、誘客促進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・お助け小屋前の橋、野麦峠の館レストラン雨漏りなどの観光施設について小規模修繕を実施する。
	対象者数	398 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・野麦峠東屋修繕、野麦峠の館トイレの洋式化						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	修繕箇所	箇所	目標値		2	6	5
成果指標	算出根拠等		実績(見込)		2	6	
	野麦峠観光客数	人	目標値	25,000	25,000	25,000	21,000
算出根拠等	野麦峠年間入込客数(観光動態調査)		実績(見込)	20,705	18,947	18,000	
成果面	算出根拠等		達成率(%)	83	76	72	
			目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討

観光施設の修繕や改修のうち、必要と認められるものについて実施していく。

施設評価に基づき、必要性等について再検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	1,229	5,400	3,749
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	65	240	179
	受益者	野麦峠観光客	(B)	20,705	18,947	22,500

5 予算編成(Action2)

事業内容	・観光施設修繕、整備	要求のポイント	・観光施設の維持管理に必要な修繕と再整備が不要な設備の撤去	事業実施の課題	・観光施設内の設備の改修については、見直しを含めた検討が必要である。	観光課	施設利用者のニーズに対応した計画的な施設修繕を実施し、利用者の増加と満足度の向上を図る必要がある。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,400	3,749	△ 1,651	3,000	3,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	5,400	3,749	△ 1,651	3,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62399	地域自然公園等管理事業	会計	1	一般買い替え	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します 新たな観光資源を発掘します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	高根支所 基盤産業課	内線	予 算	項	2		観光費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
				目	3		自然公園費	D	その他事業		
		3742						H26計画額	千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	登山利用者	どうしたい のか (意図)	・乗鞍登山、御岳登山道の草刈等整備を実施し、登山道を地域資源として活用し、地域の活性化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・シルバー人材センターへの委託
	対象者数				人		

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・子ノ原及び阿多野郷からの登山道の草刈(登山道入口より8km) ・御岳登山道の草刈(登山道入口より4km)						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	草刈等実施の延長	km	目標値	8	9	0	9
成果 指標	算出根拠等		実績(見込)	8	9	0	
			達成率(%)	100	100		
成果 指標	登山利用者数	人	目標値	20	30	50	50
	算出根拠等		実績(見込)	18	30	38	
成果 指標			達成率(%)	90	120	76	
	算出根拠等		目標値				
成果 指標			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果 指標			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
成果 指標			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補 足			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	毎年継続して実施して行くことが登山者の増加につながるものとする。
----------------------------------	----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・昨年未実施のため、笹の繁茂等進んでおり、乗鞍登山道及び御岳登山道の草刈を実施する。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域振興及び利用者の利便性や安全性の確保の観点から、引き続き継続して行く。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、登山道整備(全体)の方針について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	448	897	0	613
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	24,889	17,667		12,260
	受益者	登山利用者	(B)	18	30	38

5 予算編成(Action2)

事業内容	乗鞍・御岳登山道草刈、補修	要求の ポイント	利用者の安全な通行の確保	事業 実施 の 課題	支 所	登山者の安全を確保するため、草刈及び修繕は必要である。	項 目 政 策 推 進 課	市全体でのバランスを考慮し、登山道整備の方針について検討する必要がある。
							地 域 政 策 課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	0	613	613	0	0	・計画に掲載の無い事業のため、予算計上を見送る	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他 一般財源	0	613	613	0	0		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72299	住みよい地域づくり事業	内線 3741	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります。 ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。
種別				款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	高根支所 基盤産業課			項	2	道路橋りょう費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	500 千円				
			目	2	道路橋りょう維持費	D	その他事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び観光客	どうしたいのか(意図)	・集落間を結ぶ市道の除草等により、市民及び観光客等の通行の安全確保を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・シルバー人材センターへの委託
	対象者数	398 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・市道 5路線 8.5mの草刈及び清掃							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	実施路線数	路線		目標値	5	5	5	5
	算出根拠等	仕様書		実績(見込)	5	5	5	
				達成率(%)	100	100	100	
活動指標	実施延長		m	目標値	8,500	8,500	8,500	8,500
	算出根拠等	仕様書(市道台帳より)		実績(見込)	8,500	8,500	8,500	
				達成率(%)	100	100	100	
成果面				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
補足				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・これまで各地域ごとに協力して草刈等を行ってきたが、高齢化により実施が難しい地域が増加してきており、今後益々市が実施する割合が高くなることが予測される。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・地域の需要に応え、安全安心な生活道路を確保するため継続する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大	・地域住民の、安全安心の基盤となる生活道路である市道を良好に維持管理する必要があり、運転の支障となる雑草除去(草刈)、落石等除去は継続して実施する必要がある。
	○維持・改善 縮小	・これまで地域住民のボランティアにより実施してきた草刈も、人口の減少・高齢化によりその実施規模も縮小しており、今後市が実施していく箇所も増加することが予測される。
二次評価	○維持・改善 拡大	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。
	○維持・改善 縮小	
	○維持・改善 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	462	567	600
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,022	1,360	1,508
	受益者	4/1現在高根地域住民	(B)	452	417

5 予算編成(Action2)

事業内容	市道沿道の草刈清掃	要求のポイント	・安全安心な生活道路を確保するため地域住民が率先して行っているが、過疎化、高齢化により、これまで各地域住民が行ってきた草刈清掃を同じように継続することが困難となってきた。	維持課	地域間を結ぶ市道であり、距離も長い地域住民だけでは対応できない。市道の交通安全や景観保全のための業務を委託する。
				地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	600	600	0	500	500	・計画どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0			
	県支出金			0			
	その他			0			
	一般財源	600	600	0	500		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95299	地域体育施設維持管理事業	内線	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	高地トレーニングエリアの誘客宣伝及び雇用促進
種別					款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	高根支所 地域振興課	3710	項	5	保健体育費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	○	D	その他事業	H26計画額	150 千円		
			目	2	体育施設費									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	飛騨高山御嶽トレーニング利用者	どうしたいのか(意図)	・高地トレーニング強化拠点施設として、夜間もグラウンドを利用できることで利用者の増を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・飛騨高山御嶽トレーニングセンターのグラウンド夜間照明施設の維持管理
	対象者数	2,300 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・夜間照明施設電気料 ・ランナー注意看板の設置						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		看板の設置	基	目標値	10	5	0	0
		実績(見込)	10	4				
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	80		
		飛騨高山御嶽トレーニングセンターの利用者	人	目標値	2,000	2,200	2,300	2,300
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)	2,208	1,726	1,800	
		達成率(%)	110	78	78			
	成果指標	飛騨高山御嶽トレーニングエリアの利用者	人	目標値		19,000	19,200	19,200
		算出根拠等		実績(見込)	17,584	16,149	17,000	
	補足	達成率(%)		85	89			
		目標値						
	補足	算出根拠等		実績(見込)				
達成率(%)								
補足	目標値							
	算出根拠等		実績(見込)					
補足	達成率(%)							
	目標値							
補足	算出根拠等		実績(見込)					
	達成率(%)							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・グラウンド(夜間照明施設)の利用者を増やす必要がある。
--------------------------	------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・夜間利用ができるPRや利用の促進	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	夜間でもトレーニングができることを誘客に活用し、夜間照明の維持管理をおこなう。
	□ 拡大	
	□ 縮小	
	□ 廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	・ランナーが安全に利用できるよう施設の維持管理を行うとともに、利用者増の方策について検討する必要がある。
	□ 拡大	
	□ 縮小	
	□ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	3,621	385	150
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,640	223	65
	受益者	トレーニングセンター利用者	(B)	2,208	1,726

5 予算編成(Action2)

事業内容	・飛騨高山御嶽トレーニングセンターのグラウンド(夜間照明施設)の維持管理	要求のポイント	事業実施の課題	支所	夜間利用できることの宣伝と活用	スポーツ推進課	当事業の実施により、地域のスポーツ活動やコミュニティ活動が促進され、地域振興が図られる。
						地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		150	150	0	150	150	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	150	150	0	150	150		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。」 ・地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合っ て取り組む活動に支援します。
	種別			2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	高根支所 地域振興課	内線 3710	予算	1	総務管理費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	2,500 千円		
				9	企画費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたい のか (意図)	・地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため、市民自らが主体となって取り組む地域振興事業を支援する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・地域の住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくりへの補助
	対象者数	398 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・美化運動事業(4件)、飛騨高山高根町火畑そば収穫祭事業、入山禁止看板設置事業、駐車禁止看板設置事業、旧江戸街道案内看板設置事業、飛騨高山高根町特産品PR事業、第3回Snow Candle Night In高根事業						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	地域振興事業補助金採択件数	件	目標値	10	10	10	10	
成果 指標	算出根拠等		実績(見込)	11	11	10		
	地域振興事業補助金実績額	千円	達成率(%)	110	110	100		
成果 面	算出根拠等		目標値	2,000	2,500	2,500	2,500	
	地域振興事業補助金実績額		実績(見込)	1,786	1,853	2,500		
補 足	算出根拠等		達成率(%)	89	74	100		
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・将来的に補助できないものについては、その旨を団体に説明しなければならない。又、内容によっては一般予算の補助制度に該当する事業に見直しなど調整が必要である。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・将来的に補助できないものについては、その旨を地元へ説明しながら徐々に補助金を減額していく。又、一般予算の補助制度に該当する事業内容に見直しが可能かについて団体に助成制度を説明していく。
次年度の 実施方針	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討
二次 評価	・新規事業については、特別予算終了前に完結、あるいは終了後は補助なしで継続できるよう協議しながら実施する。 ・継続事業については、事業内容等の見直しにより、他の補助制度等に移行可能な事業は移行するとともに、以降困難な事業については、事業の規模の縮小を協議しながら継続する。 ・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,786	1,853	2,500	2,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,951	4,444	6,281	6,281
	受益者	4月1日現在高根町住民	(B)	452	417	398

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	地域 政策 課	平成27年度以降は市の関わり方を整理し、地域づくりの観点から市が実施することと地域で実施することの整理が必要である
------	---------------------------------------	-------------	-----------------	--------	---------------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,500	2,500	0	2,500	2,500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,500	2,500	0	2,500	2,500		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	内線	3710	特別 予算の 位置 付け	会計	1	一般会計	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。」 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合っ て取り組む活動に支援します。
種別						款	2	総務費						
担当課	高根支所 地域振興課					項	1	総務管理費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	5,102 千円		
						目	9	企画費	D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	どうしたい のか (意図)	・市有施設で地域からの要望に即応するもの	概要	事業の実施 手法(手段)	・市道、農道、水路等の公共施設の軽微な修繕
	対象者数	398 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	外灯修繕、道路修繕、公民館舗装、源泉施設修繕、用水路修繕など						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	地域要望対応事業採択件数	件	目標値	7	10	10	10
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	7	7	10	
			達成率(%)	100	70	100	
成果指標	地域要望対応事業実績額	千円	目標値	2,500	4,000	3,900	5,102
	算出根拠等		実績(見込)	2,025	3,710	3,900	
成果指標			達成率(%)	81	93	100	
	算出根拠等		目標値				
成果指標			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<p>引き続き実施する。</p> <p>平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。</p>

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,025	3,710	3,900	5,102
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,480	8,897	9,799	12,819
	受益者	高根支所地域全住民	(B)	452	417	398

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業実施の 課題	支所	地域 政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である
------	--------------	-------------	-------------	----	-----------	---------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,900	5,102	1,202	7,100	7,100	・配分額の調整	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	3,900	5,102	1,202	7,100	7,100		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21100	土地借上料	会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	135 千円	市長公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。 ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。
種別					○	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	高根支所 基盤産業課	内線	項	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業					
	3741	目	D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	簡易水道施設地主	どうしたいのか(意図)	・水道施設用地の借上料	概要	事業の実施手法(手段)	・市の基準を上回る土地賃貸借
	対象者数	5 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	簡易水道施設、資材置場土地賃貸借							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	土地賃貸契約者数	人	目標値	14	14	5	5
				実績(見込)	14	14	5	
	成果指標	算出根拠等 契約書		達成率(%)	100	100	100	
				算出根拠等 給水人口	人	目標値	452	417
		算出根拠等		実績(見込)	425	392	378	
				達成率(%)	94	94	98	
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
達成率(%)								
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・土地賃借料が市の基準となるよう所有者との単価交渉を継続的にすすめた結果、基準外の土地所有者は減少してきた。今後も安心安全な水の供給のため、引き続き交渉を継続する。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・次年度契約にあたり、所有者と単価交渉をする。		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善	引き続き契約にあたり市の基準での単価交渉を進める。
		拡大	
	○	縮小	
		廃止検討	
二次評価		維持・改善	(担当課評価に同じ)
	○	縮小	
		廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	206	152	152	135
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	25,750	30,400	30,400	27,000
	受益者	基準外の土地所有者数	(B)	8	5	5	5

5 予算編成(Action2)

事業内容	・土地借上料	要求のポイント	事業実施の課題	支所	・市の基準に近づけるような単価交渉の継続が必要。	上水道課	水道施設が存在している以上、賃借を継続する必要があるが、市の基準を上回る価格で借り受けている土地については、契約更新の際、市の基準に引き下げてもらうよう交渉していく必要がある。
						地域政策課	基準内の借地料となるよう交渉が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		152	135	△ 17	135	135	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	152	135	△ 17	135	135		